

**製品名: TCP-1 θ ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18748**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCT8
別名	CCT8; C21orf112; CCTQ; KIAA0002; T-complex protein 1 subunit theta; TCP-1-theta; CCT-theta; Renal carcinoma antigen NY-REN-15
遺伝子 ID	10694.0
SwissProt ID	P50990
免疫原	抗血清はヒト CCT8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

**背景**

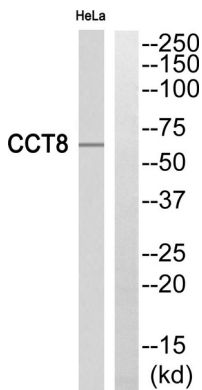
この遺伝子は、真核生物の細胞質に豊富に存在し、新たに合成されたタンパク質の輸送と組み立てに関与していると考えられる CCT

シャペロニンのシータサブユニットをコードする。選択的スプライシングにより、この遺伝子には複数の転写産物バリエーションが生じる。この遺伝子に関連する擬似遺伝子は、1番染色体上に位置する。[RefSeq 提供、2013年9月]機能：分子シャペロン。ATP加水分解によるタンパク質のフォールディングを補助する。in vitroにおいて、アクチンとチューブリンのフォールディングに役割を果たすことが知られている。類似性：TCP-1 シャペロニンファミリーに属する。サブユニット：直径12~16 nmの2つのリングが積層した約850~900 kDaのヘテロオリゴマー複合体。PACRGと相互作用する。

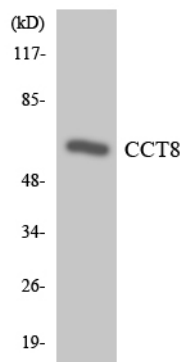
## 研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、シャペロン、その他のシャペロン

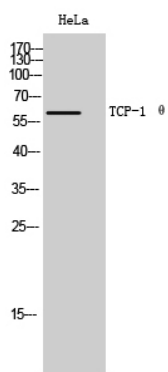
## 画像データ



CCT8抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはCCT8ペプチドでブロッキングされている。



CCT8抗体を使用したHeLa細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TCP-1 θポリクローナル抗体を用いたHeLa細胞のウェスタンブロット解析